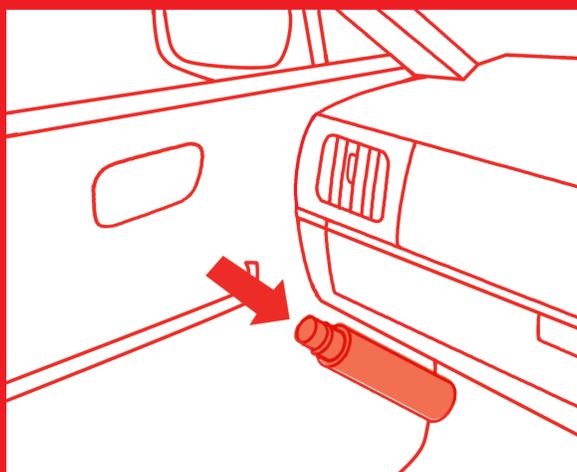


危険を知らせて 安全確保

高速道路において、交通事故や故障・パンク・燃料切れ等の緊急事態が発生した際、後続車に対して、前方に危険・障害物があることを知らせ、二次的 사고を防ぐために発炎筒を使用します。いざという時のために正しい発炎筒の使い方を理解するとともに、設置場所や有効期限を定期的に確認しておくことが大切です。

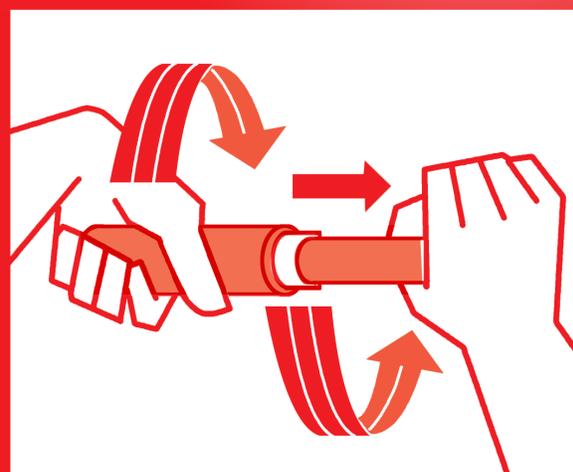


発炎筒の使い方



1 確認

常にどこにあるか
確かめておく



2 取り出す

キャップを
ひねりながら抜く



3 点火

すり薬でこすり、
点火する



4 置く・逃げる

すばやく道路に置き、
安全な場所に避難。
停止表示機材を置き、
ハザードランプを
点滅させる。

⚠️ 事故時はドライバーが怪我等で動けない場合もあります。同乗者も緊急時の対応を心がけましょう。

発炎筒は高速道路での二次的 사고を防ぎます